

## 八王子市生涯学習審議会会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 27 年 12 月 八王子市生涯学習審議会	
日 時	平成 27 年 12 月 18 日（金） 午後 7 時 00 分～8 時 20 分	
場 所	八王子市生涯学習センター 第 2 学習室	
出席者氏名	委 員	三浦眞一 岡本夢乃 炭谷晃男 浅井揚三 石川智子 碓井恵夫 小倉艶子 小宮山博仁 柴田彩千子 村上ひろみ
	事務局	井上生涯学習政策課長 塩澤主査 川久保主事 新井学習支援課長 村田南大沢図書館長 中村中央図書館長 新堀生涯学習センター図書館長 福島川口図書館長
欠席者氏名	尾暮亮 加藤方浩 小林正博	
議 事 案 件	<p>《議題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度八王子市生涯学習関連事業評価について</li> </ul>	
	<p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会定例会における関連事項について</li> <li>・第二次読書のまち八王子推進計画実績評価の生涯学習審議会意見について</li> <li>・八王子市資料収集要綱の改定について</li> <li>・平成 27 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会行事について（報告）</li> <li>・関東甲信越静社会教育委員研究大会について(報告)</li> <li>・平成 28 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会について</li> <li>・平成 28 年八王子市成人式の開催について</li> </ul>	
配付資料名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度 生涯学習関連事業評価について</li> <li>・第二次読書のまち八王子推進計画実績評価の生涯学習審議会意見</li> <li>・八王子市資料収集要綱の改定について</li> <li>・平成 27 年度都市社連協 交流大会・社会教育委員研究会資料</li> <li>・平成 28 年度都市社連協会議等日程表（案）</li> <li>・とうきょうの地域教育</li> </ul>	
	<p>1. 開 会</p> <p>2. 定足数の確認 出席者 10 名、会議の成立を確認</p> <p>3. 会議録署名委員 炭谷委員を指名</p> <p>4. 議 事</p> <p><b>議事案件 平成 27 年度八王子市生涯学習関連事業評価について</b></p> <p>旧生涯学習プランに基づく生涯学習関連事業評価における委員の意見を踏まえ、八王子市生涯学習プラン(平成 27～31 年度)に基づく事業評価シート案を作成した。</p> <p>○前回からの主な変更点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習として捉えにくい事業等の整理を行う（事業所管との調整）</li> <li>・基本施策・施策の展開 を平成 27 年 3 月改定の新プランに沿った分類とする。</li> </ul>	

- ・各事業の評価の基準を明確にするため、評価指標の項目を設定し、その評価指標に基づいた評価理由を記載する。
- ・図書館・保健福祉センター・生涯学習センター等、各館で実施している事業については事業毎に評価する。ただし、施策の展開、評価指標項目は統一することとする。
- ・「今後の方向性」について「休止」を追加し、事業の廃止と施設の改修による一時休止を区別できるようにする。

説明者：事務局

- 委員：事業評価シートに「予算」の項目があるが、所管ごとに予算額を集計するし表示する等、市として生涯学習事業にどれだけ予算をとっているかを容易に把握できるように工夫をしてはどうか。
- 生涯学習政策課長：市の予算書で、部ごとに「生涯学習の推進」等事業項目ごとに発行されているが、加えて、事業所管毎の集計があった方が良いか。
- 委員：事業所管毎に予算額が分かりやすい。
- 委員：平成26年度の評価は完結したものと捉え、本審議は平成27年度の事業評価に関するものという考えで良いか。
- 生涯学習政策課長：事業評価は毎年度、前年度に実施した事業について、所管が評価を行うものである。平成26年度関連事業評価は平成26年度中に実施済みの事業について、審議会から評価を頂戴したことにより完了しているが、審議の中でいただいた、評価シートについての意見を次年度の評価シートに反映したいと考えている。
- 会長：本日は評価シートの体形についての審議である。
- 委員：「所管評価」欄があるが、委託事業に関する評価を行うのは、委託先か事業所管であるか。
- 生涯学習政策課長：本事業評価の評価主体は事業実施所管である。
- 委員：高齢者に関する事業は市単独事業が多く、障害者に関するものは委託事業が多い。生涯学習のあり方として、協働事業については今後どのような方向性で考えているのか。
- 生涯学習政策課長：市としては、委託可能な事業は、積極的に委託化を進めていくこととしている。市単独事業が多い理由としては、取り扱う民間事業者が少ないことや、内容として委託できない事業があることが挙げられる。委託事業数自体は年々増えてきてはいるが、委員の言うとおりの、相対的には市単独事業が多いのも事実であるため、次回の評価の際には、協働を進めていくことが可能か所管に確認をする。
- 会長：次回評価の際には、前年度と比較してどのように協働がなされたかを見える手法を検討されたい。
- 委員：資料のグラフや数値が正しくないが、参考資料として提示する際も正しい数値を使用していただきたい。

生涯学習政策課長：次回より、正しい数値を使用する。

《報告事項》

- ・教育委員会定例会における関連事項について  
教育委員会定例会の議事案件の中から生涯学習関連事項について報告  
(会議次第2ページ参照)

報告：生涯学習政策課長

委員：第3次特別支援教育素案について生涯学習に関する報告はないか。

生涯学習政策課長：報告は特にない。

会長：本件について、今後、生涯学習に関連する報告があった場合は審議会で報告していただきたい。

委員：八王子産米とはどのようなものか。

生涯学習政策課長：高倉町の農家にご協力いただき、学校及び保育園給食で八王子産米を食べる日を設定する取り組みである。

委員：生徒児童の問題行動の調査とはどのようなものか。いじめを含むか。

生涯学習政策課長：調査を行った報告であり、いじめや暴力行動を含む問題行動についての調査結果の報告であった。

- ・第二次読書のまち八王子推進計画実績評価の生涯学習審議会意見について  
本件について、前回審議会において、委員より意見を聴取した。会議後、委員の意見を集約のうえ、会長と調整を行い、生涯学習審議会評価文案を作成した。本評価は図書館ホームページ等で公表する。

報告：南大沢図書館長

委員：新刊リクエストに対する購入の基準は。また、図書の購入費用は年々減少傾向にあるといわれているが、予算を決定するのは市のどの部署になるか。また、予算が減少していることについて、教育委員会としてどのように考えているか。

中央図書館長：リクエストは、どのようなジャンルの本でも受け付ける。購入については、近隣図書館及び国立国会図書館で該当図書を所有の有無を確認する。新刊図書の購入については、現在本市では購入の上限を20冊としている。10年以上前には、他市の図書館で上限なし購入し、予約待ちをなくすという傾向もあったが、現在はどの図書館も購入冊数の制限がある。

南大沢図書館長：図書館や生涯学習の予算が減少していることは事実。政策決定は教育委員会で行うが、予算の決定は市の事業全体の中での決定となる。

会長：読書のまち八王子連絡協議会の中でも、図書館における予算の確保をするよう意見しているが、市全体の予算編成の中で、反映さ

れない。各部署の妥協点により予算が決定させている現実もあると思うが、方法論としては問題があると考えている。未来のための教育として、予算の確保をしていただきたいことを申し添える。

委員：どうして教育委員会として、強く言えないのか。

生涯学習政策課長：本市の場合は扶助費及び民生費が予算の多くを占めている。予算の配分の決定は市長部局で行うこととなっており、教育委員会としてはその割り当ての中で各部署における予算を配分する。今年4月から、総合教育会議が設置され、市長と教育委員が直接やり取りできるようになった。案件として予算も含まれている。今後は教育委員会の意見が、より市長部局に伝わりやすい体制に変わっていくと考える。

会長：継続的に市に意見を伝えることが重要である。

・八王子市資料収集要綱の改定について

本要綱は、図書購入における基準として策定されている。

今回の主な改定理由は、10月の中央図書館みなみ野分室開室によるもの。

説明者：中央図書館長

委員：学習漫画は購入しているか。

中央図書館長：現在漫画は学習漫画のみ購入しているが、コミック本のリクエストが非常に多い。所有している他市の図書館に借りて貸し出しているケースもあり、このままコミック本を置かなくていいのかという点についての検討課題がある。

・平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会について

12月18日(土)開催の交流大会について報告。

説明者：事務局

委員：交流大会に参加し、基調講演は勉強になった。委員一人ひとりが考えて行動しなければいけない。

会長：当審議会は社会教育法に基づく社会教育委員として、与えられている権限(教育委員会に直接意見を言うことができる等)も異なる。社会教育委員会議と生涯学習審議会の矛盾点があることを理解したうえで議論をしていただきたい。

・関東甲信越静社会教育委員研究大会について(報告)

11月5・6日、前橋市ベイシア文化会館及び群馬県民ホールで開催。荻原健司氏による記念講演、パネルディスカッション及び分科会

説明者：事務局

委員：講演について、講師が指導をする際は、選手と議論をして、メニューを決定するという話が、文科省のアクティブラーニングと同

様の発想であり印象的だった。分科会では政令指定都市である浜松市の話聞いたがやはり予算は削減されているとのこと。また、県や自治体により本大会への参加者にばらつきがあることに驚いた。

- ・平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会  
本市で開催となる会議及び行事について日程案を提示。

説明者：事務局

会 長：会長市となると、総会等の行事で受付や司会等を行うことにある。  
委員の皆さんで分担をしていただくことになる。

- ・平成28年成人式について  
平成28年度1月11日(月・成人の日)に開催。出欠席票の提出を依頼。

説明者：事務局

- ・その他  
委員の任期について、来年6月をもって任期満了となる。来期については、個別に連絡をし、意向確認を行う。

説明者：生涯学習政策課長

会 長：次回の会議日程は調整の上、別途事務局より連絡をする。  
本日の会議は以上をもって終了する。

5. 閉 会 (午後8時20分)

上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市生涯学習審議会会長

八王子市生涯学習審議会委員